

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【公開番号】特開 2002-49232 (P2002-49232A)
 【公開日】平成 14 年 2 月 15 日 (2002.2.15)
 【出願番号】特願 2000-238560 (P2000-238560)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/02 (2006.01)

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 15/01 (2006.01)

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/02 1 0 3

G 0 3 G 9/08

G 0 3 G 15/01 J

G 0 3 G 15/01 L

G 0 3 G 15/08 5 0 7 B

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 7 月 30 日 (2007.7.30)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 1 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【請求項 1 0】

前記被転写材は、転写材、もしくは、各色の現像剤像を順次に多重転写した後に転写材に一括転写する中間転写体、であることを特徴とする請求項 3 に記載の画像形成装置。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 3 0
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 3 0】

(1 0) 前記被転写材は、転写材、もしくは、各色の現像剤像を順次に多重転写した後に転写材に一括転写する中間転写体、であることを特徴とする (3) に記載の画像形成装置。

【手続補正 3】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 5 1
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 5 1】

帯電清掃ローラ 2 は帯電ニップ部 n において矢印 B のように感光ドラム 1 の回転方向と逆方向 (カウンター) に回転駆動され、感光ドラム 1 の周面に対して速度差を持って接触する。M は該帯電清掃ローラ 2 の駆動源である。またプリンターの画像記録時には該帯電清掃ローラ 2 に帯電バイアス印加電源 S 1 から所定の帯電バイアスが印加される。これにより、回転感光ドラム 1 の周面 (像担持体表面) が直接帯電 (注入帯電) 方式で所定の極性・電位に、接触帯電処理される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0075

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0075】

(B) プロセカートリッジ

本実施例のプリンターは、感光ドラム 1、帯電清掃ローラ 2、現像器 5 の 3 つのプロセス機器を一括してプリンター本体に対して 着脱自在 (着脱・交換自在) のプロセカートリッジ PC としてある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0166

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0166】

Y、M、C、K はそれぞれ異なる色の画像を形成する第 1 から第 4 の 4 つの画像形成手段部である。それ等の各画像形成手段部はそれぞれ像担持体である感光ドラム 30a ~ 30d、帯電手段 31a ~ 31d、像露光手段 32a ~ 32d、現像手段 33a ~ 33d とを有する。そしてその各画像形成手段部はそれぞれ感光ドラム 30a ~ 30d、帯電手段 31a ~ 31d、現像手段 33a ~ 33d とを 包含させて一体化して、プロセカートリッジ 34a ~ 34d の形態をなしている。プロセカートリッジは、主要部品の交換を容易にし、ユーザーメンテナンスの向上を図っている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0194

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0194】

イエロートナーは他色のトナーと比較して視感度が低いため、1 色目の画像形成手段をイエローとすることで、実際に得られる出力画像において前述の様な画像欠陥が視認し難くなる。即ち、複数の像担持体の内、画像形成の際に最初に現像剤像が形成される像担持体には、画像形成装置において使用される各色の現像剤の中で、最も視感度の低い色の現像剤像が形成される様にする。